

第 20 回 基準油脂分析試験法セミナー

主 催 : 公益社団法人 日本油化学会

会 期 : 2021 年 10 月 4 日 (月) ~ 8 日 (金)

方 式 : ・ 講 演 : 説明音声つき講演ビデオを好きな時間に見られるオンデマンド配信。

質問は開講中にチャットにてお気軽にお寄せください。

配信期間 : 10 月 4 日 (月) 9:00~10 月 8 日 (金) 12:00

・ 質 疑 : チャットにて寄せられた質問を中心に講師が TV 会議でお答えします。

希望者がお気軽に参加できるよう、講師毎の小部屋に分かれて少人数で行います。

開催日時 : 10 月 8 日 (金) 13:00~15:00、15 分毎にメンバーを入れ替えます。

油脂や食品についての分析法の基礎を理解し、更なるステップアップを目指す研究者にお勧めするセミナーです。第 20 回目を迎える今回は、トランス脂肪酸問題について、また、脳センシングによるオリーブオイルの効能評価や機能性成分の分析法開発、簡易劣化評価法について、遠隔操作による新たな分析体系の構築などを、専門の先生方に講演していただきます。

皆様のご参加をお待ちしております。

講 演

1. 異性体の分布から考えるトランス脂肪酸問題 東京海洋大学 後藤 直宏 氏

トランス脂肪酸はトランス型二重結合を有する不飽和脂肪酸の総称であり、1 つの構造物を指す言葉ではない。トランス脂肪酸は部分水素添加油 (工業) や反芻動物由来の肉や乳 (天然) に含まれるが、なぜか天然由来のトランス脂肪酸は「問題なし」、工業由来のトランス脂肪酸は「問題あり」、とされている。本講演ではこのパラドックスに関し、トランス脂肪酸異性体分布を切り口にして紐解く。

2. 脳センシングによるオリーブオイルの効能評価 ~脳センシングで人のオリーブオイルに対する嗜好や効能を評価するためのプロトコールと評価方法 慶応義塾大学 満倉 靖恵 氏

本講演では脳を誰でも簡単にセンシングする方法を紹介し、それによってオリーブオイルの効能を評価する方法を紹介する。また、脳のセンシングによって嗜好を捉えることができた我々の手法並びにその応用も紹介する。とくに、人に対してストレスをかけた場合に、油脂が体に与える影響を摂取後 1 時間に渡りその経時変化を追うことで、ストレスが軽減される様子を確認した研究成果についても紹介する。

3. 食品中の機能性成分の分析法開発について (株) ヤクルト本社 原田 勝寿 氏

トクホや機能性表示食品など、機能性を表示できる数多くの食品が市販されています。申請や品質管理において関与成分の特定や定量するための分析法の確立は必須ですが、夾雑物の塊である食品から正確に分析することは容易ではありません。本講演では、分析メソッド開発における

心構え、注意点など、事例を含めて紹介します。

4. NMR 分析でできること ～高純度有機化合物の純度検定から食品に含まれるリン脂質クラスの定量まで～ (一財) 日本食品分析センター 加藤 毅 氏

NMR は構造解析等の定性的利用が有名ですが、定量測定も得意としています。本セミナーでは、高純度有機化合物の精確定量（純度検定）、果汁等に含まれる有機化合物の同時定量、さらには、食品に含まれるリン脂質クラスの定量分析等の事例を紹介し、他の機器分析法には無い NMR による定量試験の特徴について説明します。

5. ESR スピントラップ法による油脂の簡易劣化評価法

(国研) 農業・食品産業技術総合研究機構 亀谷 宏美 氏

電子スピン共鳴 (ESR) スピントラップ法を利用した植物油の劣化度合測定技術を紹介します。この測定法は、手順が少なく、数分で測定完了となる非常に簡便な手法です。測定結果を、一般的な測定法である過氧化物価 (PV) および酸価 (AV) と比較し、ESR スピントラップ法ならではの有益性を紹介します。

6. 検体処理自動化システムおよび遠隔操作を用いた新たな分析体系の構築

西川計測 (株) 石井 絵理 氏

働き方改革の実現に向けて、分析業務においても自動化やリモートワーク対応の要望が高まっている。本講演では、食用油脂中の 3-MCPD 脂肪酸エステル類の分析を例に、検体処理の自動化およびリモートワーク下での装置制御とデータ解析の運用を紹介する。

7. コロナ禍における「新しい分析様式」のご紹介 AI による自動化と遠隔化ソリューション

(株) 島津製作所 服部 考成 氏、安田 弘之 氏

新型コロナウイルスの感染拡大は、分析業務においても従来の業務の在り方へ変革を迫りました。本講演では、AI を活用した新しい解析手法のご紹介と分析機器のネットワーク化事例のご紹介から、分析業務の新しい形をご提案いたします。

参加費：

会員種別	参加費 (単位：円)			
	法人会員の参加費割引は一括申し込みの場合に限る			
	1 名	2 名	3 名	1 名増毎
本会正会員 (個人会員)	16,000	—	—	—
本会法人会員	20,000	30,000	40,000	+10,000
会員以外の方※	28,000	—	—	—
学生	6,000	—	—	—

※会員以外の方は申込時に本会にご入会されますと、会員参加となり、更に毎月、会員誌『オレオサイエンス』が送付されます。(正会員会費 10,000 円、入会費無料)

募集人員：100名（定員になり次第締め切ります）

申込締切：9月30日（木）

申込方法：下記の申込書に記入の上、Fax 又は同内容を E-mail にて下記宛に申込み、参加費をお振込下さい。振込手数料はご負担願います。

申 込 先：公益社団法人 日本油化学会（〒103-0027 東京都中央区日本橋 3-13-11 油脂工業会館内）
TEL: 03-3271-7463 FAX: 03-3271-7464 E-mail：y-kubo@jocs-office.or.jp

振 込 先：三菱 UFJ 銀行 八重洲通支店 普通預金 1057794 公益社団法人日本油化学会

FAX：03-3271-7464

			受付番号
第 20 回基準油脂分析試験法セミナー 参加申込書			
ふりがな 氏 名			所属学会 会員番号
勤 務 先			
連 絡 先	〒 Tel： Fax： E-mail：		
参 加 費 (○印)	本会正会員(個人会員) 本会法人会員(参加 名)()円 会員以外の方 学生	16,000 円 28,000 円 6,000 円	送金予定日：